

博士課程教育リーディングプログラム 事後評価結果案に対する意見申立てについて

平成31年2月22日
博士課程教育リーディングプログラム委員会

1 趣旨

事後評価結果は、支援期間中に各大学が教育改革や組織再編等の取組の持続的展開及び支援期間終了後の学位プログラムの定着等の大学院教育の水準の向上に資するとともに、各採択プログラムの成果等を明らかにし、社会に公表することにより、産学官民における博士号取得者の活躍を促進することを目的とする。

このため、博士課程教育リーディングプログラム委員会（以下「委員会」という。）類型別審査・評価部会（以下「部会」という。）では、事後評価結果を最終的に確定・公表する前に、その案を各大学に通知し、その内容等に対する意見申立ての機会を設けることとしている。

2 意見申立ての範囲

- （1）事後評価結果案は、各採択プログラムが作成した事後評価調書、プログラム担当者等に対して実施したアンケート調査結果等を基に部会が実施した書面評価、必要に応じて実施した現地調査、ヒアリングを基に取りまとめられていることから、意見申立ては、これらの記載の内容（現地調査及びヒアリングで聴取した意見を含む。）の範囲とする。
- （2）委員会の行う事後評価の実施方法等については、意見申立ての対象としない。

3 意見申立ての方法

意見申立ては、別紙様式1「事後評価結果案に対する意見申立て書」にその内容を記入の上、部会に提出することとする。

4 意見申立てへの対応

- （1）部会は、大学から事後評価結果案に対する意見申立てがあった場合は、再度審議を行った上、委員会に報告する。
- （2）意見申立ての内容については、意見申立てへの対応とともに、原文のまま公表する。
なお、意見申立ての中に、個人に関する情報や、大学等の正当な利益を害する恐れがあるものなどの不開示情報が含まれる場合には、当該部分は公表しない。

5 誤字・脱字等の事後評価結果に関する連絡事項

事後評価結果案に関し、誤字・脱字、呼称の齟齬等正確性を欠くものなど、修正が必要な事項がある場合には、別紙様式2「事後評価結果案に関する正誤票」に記入の上、提出することとする。

なお、別紙様式2により提出された内容については、公表しない。

博士課程教育リーディングプログラム 事後評価結果案に対する意見申立て書

機 関 名		整理番号	
プログラム名称			
プログラム責任者		プログラムコーディネーター	

1. 意見申立ての有無（有・無）

「有」に○を付けた場合は「2. 意見申立ての内容」を記入してください。

2. 意見申立ての内容

(1) 意見申立ての対象となる箇所

※該当箇所が分かるよう前後の文章も含めて原文を記入した上で、該当箇所に下線を付してください。

(2) 意見及び理由

※1) 上記(1)に対する意見及びその理由については、公表されることを前提として、簡潔に記入してください。また、提出済みの事後評価調書等に沿って記入する場合は、該当ページ等を明示してください。

2) 不開示情報に該当する箇所は波下線(〰)を付してください。

3) 意見ごとに別葉で作成してください。また、本様式の記入欄が不足する場合には、適宜、行を追加してください。

4) 文字は、黒字、MS明朝、10.5ポイントとしてください。

博士課程教育リーディングプログラム 事後評価結果案に関する正誤票

機 関 名		整理番号	
プログラム名称			
プログラム責任者		プログラムコーディネーター	

事後評価結果案に関し、誤字・脱字、呼称の齟齬等正確性を欠くものなど、修正が必要な事項がある場合に記入してください。

なお、提出された内容については、公表しません。

<記入例>

- 行目 (正) 環境学専攻を設置し、
- (誤) 環境科学専攻を設置し、

※本様式の記入欄が不足する場合には、適宜、行を追加してください。

文字のフォントは、黒字、MS明朝、10.5ポイントとしてください。